

11 カナダ

Canada

基礎データ	人口	3,893万人(2022年)	日本との関係	日系企業数	971社(2022年)
	名目GDP	2兆1,615億米ドル(2022年)		在留邦人数	75,112人(2023年)
	1人当たりGDP	55,522米ドル(2022年)		日本食レストラン数	2,610店(2023年)
	実質GDP成長率	3.8%(2022年)			

1 市場の特性と消費の動向

需要の増加に伴い、輸入量も増加傾向

A 市場の特性

中国やインド等のアジア系移民増加に伴い、コメの消費量は増えていますが、カナダはコメを生産していないため、輸入に頼っています。タイ、インド、パキスタン等からの長粒種の輸入が多いですが、米国、日本、イタリア等からの中・短粒種の輸入もあり、特に日本からのコメの輸入は、近年増加しています。包装米飯の輸入も緩やかな増加傾向をたどっており、日本からの輸入額も増えています。

B 消費の動向

カナダには多様な人種や民族が住んでおり、様々な種類のコメが消費されています。バスマティ米やジャスミン米等の長粒種は、カナダ系白人、インド系、タイ系、中華系の消費者に人気があります。そのため、現地系や東南アジア系のスーパーでは、様々な種類の長粒種を扱っています。

他方、短・中粒種は主に日系、韓国系、中華系の消費者に購入されています。東アジア系の専門食料品店では主に短粒種を販売しており、中粒種も若干販売しています。

多様な人種に支持されている寿司は、カナダで最も人気のある料理の一つです。米国の市場調査会社トラファルガー・グループによると、2020年にカナダで最も人気のある食事として、日本食が選ばれています。寿司は国民が好む料理の一つであり、持ち帰りの人気メニューでもあります。一方、カナダには約2,600店の日本食レストランがありますが、日本人が経営しているものは多くないと言われています。

表-1 コメの生産・消費・輸出入の状況

MY(7月～翌6月)	2021	2022	2023
生産量(千トン)	0	0	0
消費量(千トン)	448	419	435
輸出量(千トン)	20	15	15
輸入量(千トン)	468	434	450

(出典)USDA(精米ベース) 2024年1月30日時点

表-2 日本からのコメの輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	210	382	1,629
輸出単価(円/kg)	329	273	242

表-3 日本からの米菓の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	40	38	60
輸出単価(円/kg)	1,288	1,328	1,496

表-4 日本からの包装米飯等の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	7	10	27
輸出単価(円/kg)	398	575	798

(出典)財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く) 2024年1月30日時点

コメの主な輸入先国・地域

米国、タイ、インド、パキスタン、ベトナム、イタリア、アルゼンチン、中国

2

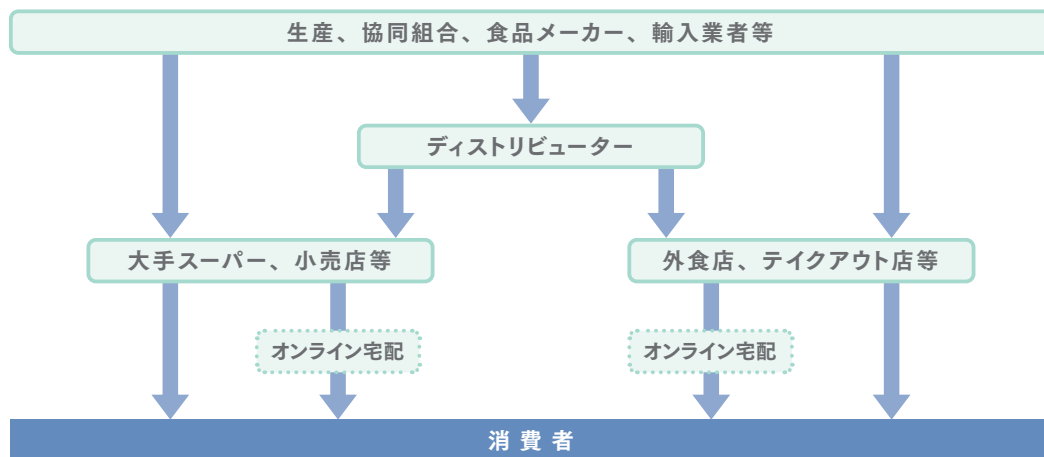
流通チャネルと取引慣行

日本食材の流通経路は限定されており、日系、アジア系流通網で取引

A 日本産米の流通経路

カナダでは、日本産の食品は主に日系、アジア系の流通網で取引されています。北米に進出している日系の大手食品卸業者は、地域ごとにエージェンツ(担当)を配置し、現地のディストリビューターと取引しています。日本企業との直接取引を模索している現地系の大手スーパーもあります。

なお、一般的には輸入食品の各段階におけるそれぞれのマージン(利益幅)は輸入業者では10～15%、ディストリビューターは10～15%、小売業者は35%とされています。



(出典)現地での聞き取りなど

B 取引慣行

コメを輸入するには、カナダ歳入庁(CRA)の登録番号とカナダ食品検査庁(CFIA)のSFC(Safe Food for Canadians)ライセンスの申請が必要です。日本産米には輸入関税がかかりません。また、食用として輸入されるコメには物品サービス税(GST)は適用されません。また、カナダ輸入業者データベース(「CID」)によると、2021年には58のカナダ企業がコメを輸入し、日本産米の主な輸入業者は、Angels Seafoods社、Marutodai Canada Enterprise社、Western Rice Mills社、Shig's Enterprise社、T&T Supermarket社などです。Shig's Enterprise社は日系食料品店、T&T Supermarket社はアジア系のスーパーマーケットを展開しています。

3

関税割当枠と関税

精米・玄米は関税なし、包装米飯・米菓はCPTPP適用対象

関税割当枠

日本からカナダへのコメの輸入には、輸入関税は課されません。また、輸入数量割当制及び関税割当品目の制度もありません。

関税

玄米(HSコード：1006.20)	無税
精米(HSコード：1006.30)	無税
包装米飯(HSコード：1904.90.50)	MFN：6% CPTPP：無税
米菓(HSコード：1905.90.90)	MFN：11% CPTPP：無税

製品ラベル表示は、すべて英語とフランス語を併記

A 検疫制度

日本からコメを輸出する場合は、植物検疫証明書なしで輸出できます。2020年7月15日以降は、輸入者の年間売上額が10万カナダドルを超え、かつ従業員が5人以上いる場合には、輸入者が予防管理計画を英語またはフランス語で保管することが求められるため、輸出者側からその情報を求められることが予想されます。

また、カナダではコメを含む食品を販売する際、連邦政府が定める免許や登録は必要ありませんが、一般的に州や地方自治体では、各自自治体が定める免許の取得や事業の登録が必要です。

B 食品規制

製品表示の内容

製品表示は「基本ラベル表示要件」、「強調表示および陳述」と食品分野別に定義される「食品群別ラベル表示要件」から構成されています。

加工されていないコメは食品群別ラベル表示要件の対象で、コメを含む穀物のラベル表示要件として提示されている項目は以下のとおりです。

- a. 品名
- b. 原材料表示(❖コメは免除)
- c. 正味量
- d. 栄養表示(コメの場合、1人分(30g～45g)当たりの栄養価(表示内容は下記包装済み食品に同じ))
- e. 栄養強化剤(ビタミン、ミネラル、アミノ酸など)を添加している場合、その旨の記載

一方、包装済み食品には基本ラベル表示要件が求められます。

- a. 品名
- b. 原産国
- c. 包装日と貯蔵方法
- d. 製造業者または輸入業者の名称および住所
- e. 放射線照射食品(放射線を照射されたコメは販売が許可されていないため対象外)
- f. 原材料表示およびアレルギー情報(コメは表示義務なし)
- g. 正味量
- h. 栄養表示(熱量、脂質および脂肪酸(トランス脂肪酸)、炭水化物、コレステロール、食物繊維、糖類、たんぱく質、ナトリウム、カリウム、カルシウム、鉄分)
- i. 甘味料(アスパルテーム、スクラロース、アセスルファムカリウム、ネオテーム、ポリデキストロース、糖アルコール)を含む場合、その旨の記載
- j. 食品添加物
- k. 栄養強化剤(ビタミン、ミネラル、アミノ酸など)を添加している場合、その旨の記載
- l. カナダの国内法に規定されている食品等級(※コメに関する等級はないので、表示義務なし)
- m. 任意の強調表示(雑穀米である旨など)

ラベル表示は英語とフランス語で併記する必要があり、文字サイズは1.6mm以上である必要があります。

■ 残留農薬基準

コメは、残留農薬／動物用医薬品規制の対象となります。保健省病害虫管理規制局（Pest Management Regulatory Agency：PMRA）が農薬最大残留基準値データベースを公開しています。

■ 東京電力福島第一原子力発電所に関連した輸入規制

2011年6月14日、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う日本産食品の輸入規制は撤廃されました。

5 小売店の店頭価格

日本産米・米加工品は主に日系・アジア系スーパーで販売

A コメの販売価格

日本産米は主に日系スーパーと中華系スーパーで販売されています。これらのスーパーでは日本産米の他、カリフォルニア産米も取り扱っており、ブランドによっては米国産の方が高く売られています。カリフォルニア産中粒種の「Kokuho」は現地のアジア系消費者によく知られているブランドですが、2023年7月時点では日本産米よりも高い値段で売られている場合もあります。

B 包装米飯の販売価格

カナダでは、包装米飯は日本産の他に韓国産、カナダ産、米国産などが売られています。日本産は日系スーパーで多く売られています。米国産は他国産より、やや安い値段で販売されています。

C 米菓の販売価格

包装米飯同様に、日本産の米菓は日系スーパー以外ではほとんど見かけられません。カナダでは、中国産や米国産、カナダ産など様々な米菓が販売されています。

表-5 コメの販売価格（調査月：2023年7月）

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (ドル)	販売単位での 円換算*
Rice Nanatsuboshi	日本	2 kg	10.99	1,172
Uonuma Koshihikari Rice	日本	2 kg	22.39	2,388
Toyama Milk Queen Rice	日本	5 kg	44.39	4,734
Kokuho Rose Medium grain Rice	米国	5 kg	40.64	4,334
Koshihikari Sushi Rice	米国	6.8 kg	52.51	5,600
Lohas White Rice	台湾	1.5 kg	13.43	1,432

表-6 包装米飯の販売価格（調査月：2023年7月）

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (ドル)	販売単位での 円換算*
Cooked Japanese White Rice Ready to eat	日本	180g×3	6.99	745
Cooked Japanese White Rice	日本	200g×3	8.29	884
Cooked White Rice	韓国	630g	8.59	916
Minute Rice	米国	700g	5.27	562
Instant Rice	カナダ	700g	7.10	757

表-7 米菓の販売価格（調査月：2023年7月）

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (ドル)	販売単位での 円換算*
Atsuyaki Shoyo Arare	日本	169g	6.99	745
Hachimi Rice Cracker	日本	57g	5.79	618
Want Want Senbei Rice Crackers Family Pack	中国	400g	5.97	637
Great Value Cheese Rice Crackers	カナダ	100g	1.47	157
Good Thins Rice Simply Salt Crackers	米国	100g	3.48	371

*1カナダドル=106.65円換算

6

インターネット販売の実態

コロナ禍の影響で、カナダのEC市場は大きく拡大しました。多くの食品会社や小売店がオンライン注文の宅配サービスを開始しましたが、オンライン上で掲載されている栄養関連情報やアレルギー情報等が一貫していない点に懸念が広がっています。2023年にカナダ政府が電子取引で販売される食品に関するガイドラインを公表しました。これによれば、オンライン販売者がカナダの食品関連の法律に従い、食品の成分情報の表示やクレームを受け付ける窓口の設置、製造業者や出品者に対して食品安全検査の実施及びその報告書の提出などを求めるよう促しています。既にAmazonやeBayがカナダ保健省と連携してガイドラインの履行に取り組むことを表明しています。

主要ECサイト	a . eBay Canada	http://www.ebay.ca/
	b . Amazon Canada	https://www.amazon.ca
	c . Walmart Canada	http://www.walmart.ca/en
	d . Umami Shop	https://umamishop.ca
	e . Konbiniya Japan Centre	https://shop.konbiniya.com
	f . More Foods Mart	https://morefoodsmart.com
	g . Haisue	https://haisue.ca
	h . SuzuYa	https://suzuya.ecwid.com/

7

輸出拡大に向けて

カリフォルニア産米が主流だったカナダ市場は、2022年のカリフォルニアにおける干ばつの影響で日本産米の需要が大きく伸びた市場の一つです。カナダの大きな特徴は都市による人種構成の違いが大きい事で、バンクーバーはアジア系が人口の約40%を占めている一方、ケベックは約90%が白人です。カナダという大きな括りではなく、大都市を中心とした経済圏で捉え、それぞれの経済圏での日本産米の需要拡大の機会を見ていくことがカナダにおいては重要になります。